

SENAインターコム買い替え講座 GT-Air2のインカムを買うなら SRL2 MESH がオススメ!

セナとSHOEIがコラボレーションして生まれた、ビルドインタイプのインターコム「SRL」シリーズ
特に「GT-Air2」「J-Cruise2」「NEOTEC2」のユーザーは、「SRL2」と「SRL-MESH」を選ぶことができる
ここで悩ましいのが「SRL2とSRL-MESHのどちらが自分の使い方に合っているのか?」ということ
そんな究極の選択のポイントを、ここで改めてそのシステムを説明しながら紹介しよう

文/八百山ゆーすけ 問:セナBluetoothージャパン <https://senablueetooth.jp>

必ずしもメッシュユグがベストな選択とは限らない

セナ・インターコムの中でも異色の存在が「SRL」シリーズだ。セナとSHOEIのコラボレーションによって生まれたSRLは、SHOEIの「GT-Air2」「J-Cruise2」「NEOTEC2」という3つのヘルメット専用のインターコムで、ヘルメットに設けられた取り付け部に、SRLの各コンポーネントをはめ込むだけで取り付けられ、ヘルメットの一部であるかのようなスマートなフィットリングが魅力のモデルだ。

現在SRLシリーズには「SRL2」と「SRL-MESH」があり、「SRL-EXT」の3モデルがあり、前者2つは先に挙げたSHOEIの3つのヘルメットで利用できる「SRL-EXTのみ「Z-8」専用。それだけに、GT-Air2とSRLメッシュのどちらを選んだらいいか、迷うところだろう。

SRL2はBluetoothの通信ICチップを2つ搭載したモデルで、セナのBluetoothインターコムとの接続が可能。Bluetoothチップを2個搭載することで、インターコム通話と、スマートフォンの音楽やナビ音声

MESH or 2? この場合、どっちを買うべき

CASE 3

- 走るのはいつものメンバー (基本3人以上)
- 全員所有しているのがBluetoothインカム
- 先導をすることが多いので、できれば通話しながら、音楽やナビも聞きたい

ANSWER

ナビを聞きながら通話も可能な

SRL2

メンバー全員がBluetoothなら、やはりSRL2を選択。オーディオマルチタスクで、通話しながら音楽やナビ音声も聞ける



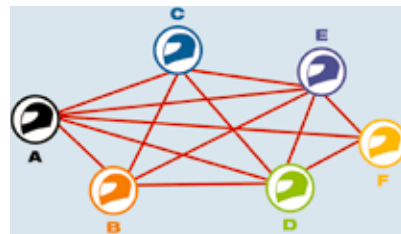
CASE 2

- 走るのはいつものメンバー (基本3人以上)
- SENA MESHインカムを友人は使用している

ANSWER

メッシュ通話を体感できる

SRL-MESH



いつもツーリングに出かけるメンバーが決まっている、さらにそのグループがセナのMESHインターコムを使っているのであれば、SRL-MESH一択だ。メッシュ・インターコムでスムーズな接続で途切れにくい、快適なグループ通話を楽しめる

CASE 1

- 基本ソロツーリング
- たまに走る友人のインカムは、SENAのBluetoothインカム

ANSWER

音質もいい

SRL-MESH



ソロ主体ならあくまでも自分中心に考えて、ハーマン・カードンの高音質を楽しめるSRL-MESHがオススメ。たまに仲間と走るときにはBluetoothのユニバーサルインターコム機能が使える

つなげる機器と、友人のインカムで判断しよう!

を同時に聞くことができる「オーディオマルチタスク」機能が使えるなど、セナのBluetoothモデルのなかではハイエンドモデルに位置付けられる。

一方SRLメッシュは、文字通りセナ独自の「メッシュ2.0」通信システムを採用し、通話人数無制限のメッシュ・グループ通話が可能。同時にBluetoothチップも搭載しており、スマートフォンや他のBluetoothデバイス、インターコムとの接続も可能だ。SRLメッシュはこの「メッシュ+Bluetooth」というシステムを採用することで、グループインターコム通話と音楽やナビ音声と同時に聞くことができる。

この2つのSRLに対しては、いきおいメッシュの方がエライ、という向きもあるが、必ずしもそうとは限らない。むしろ、いつも走る仲間が全員Bluetooth・インターコムを使っているなら、SRL2の方が高音質かつスマートにインターコム通話ができるなど、ベターなチョイスだといえる。一方で、おもにソロで使うなら、通信方式よりも音楽などを聞くときの音質を追求したSRLメッシュを選ぶといった考え方もある。そのため、まずは自身のツーリングスタイルをよく見極めて、自分に最適なSRLを選ぶよう。

まずはおさらい /

SHOEI・GT-Air2の専用モデルは2つある

Bluetoothモデル



Bluetoothチップ×2

SRL2

価格: 4万40円

通話距離: 最長1.6km (見通しの良いところ)

最大8人による通話が可能で、セナ・Bluetoothインターコムの中でもハイエンドモデル。「オーディオマルチタスク」機能により、グループインターコム通話中にも音楽やナビ音声聞くことができる

【同機能モデル】

20S EVO

Bluetoothチップ×2

ってどういうこと?

SRL2はBluetoothチップを2つ搭載しており、Bluetooth機器を同時に2つ利用できる。片方のチップでグループインターコム通話をしながら、もうひとつのチップでスマホの音楽やナビ音声も聞ける「オーディオマルチタスク」機能が使える。通話は片方のBluetoothチップがインターコム通話に専念するイメージだ



MESHモデル



MESHチップ×1

Bluetoothチップ×1

SRL-MESH

価格: 4万8840円

通話距離: 約2.0km (Bluetooth) 約2.0km (Mesh)

ボタンひとつで簡単に人数無制限のグループ通話ができるセナMESH2.0テクノロジーを搭載。サウンドはハーマン・カードンの手でチューニングされた最高峰モデル・クァンタムファミリーの一台だ

【同機能モデル】

50シリーズ、SRL-EXT、30K

MESHチップ×1、Bluetoothチップ×1

ってどういうこと?

SRL-MESHは通信チップ (IC) を、通話専用のMESHと、スマホや他のBluetooth・インターコム接続用の2つを搭載。セナMESHグループ通話中にBluetoothチップを使ってスマホの音楽やナビ音声も聞ける。ただし、Bluetoothグループ通話中は周辺機器との接続は切れる

